



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

オンライン学習に向けて ～先生方も覚悟をもって勉強中～



新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、学校では「オンライン学習」に向けて急ピッチで準備を進めています。各家庭に「Wi-Fi環境」の調査を行わせていただいたのもその一環です。お忙しい中での調査であり、心苦しくも思っていますが、家庭でも、学校でも、誰が、いつ、どこで罹ってもおかしくない状況であることは間違いなく、学校にいつ登校できなくなってもおかしくないことは明白です。

学校においては、たとえコロナウイルス感染症の拡大で学級・学校が休業となっても「学びを止めないこと」は最大の懸案事項です。その中心となる対応策が「オンライン学習」であると考えています。とはいえ、これまでの学校に影も形もなかった「タブレット」を使って、「オンラインで授業を進める」ことは並大抵のことではありません。まして、子どもたちに、教師として使い方を伝えていくとなるとハードルはより高いものにならざるを得ません。

しかし今は、「大変だ」などと言っている場合ではないこと、非常事態であり今すぐやらないと取り返しがつかなくなることさえあること、できない理由を探している時間があるくらいならとにかくやってみることが大事であるという認識、覚悟を先生方はみんなもっています。年齢や経験にかかわらず「やるしかない」という気持ちで向き合っています。こんな北小の先生方は私の誇りです。

また、先生方は夏休み明けから、時間を生み出しながら、オンライン学習に向けた話し合い・研修を進めています。1日には、先生方間で実際に「Zoom」をつなぎ、実際の場面を想定した研修を行いました。とはいえ、私たちがやっていることは「Zoomで教師と子どもをつなぐ」その方法だけで、授業の質や内容の検討など、まだまだやるべきことが山積みであることも自覚しています。学びの保障に向けできる限りのことを行い、一つ一つ課題を解決できたらと思っています。

家庭へのタブレットの持ち帰りに向けて学校では、「学級で子どもと担任によるZoomへの接続練習」をして、子どもの力だけでもなんとか接続できるようにしてから、家庭での接続テストを行っていただく予定です。様々な事情、不安は重々承知しておりますが、どうかご協力ください。日程、方法等については学校からの通知をご覧ください。

私たち教員は学校での対面授業の良さ・集団での学習・直接的な触れ合いの重みを誰よりも知っています。しかし、今の状況では「命」に関わる対応が最優先であり、さらに、学校として最低限の学びを保障するところはなんとしてでも守り抜かなければならないと考えます。オンライン学習はその手段です。また、オンライン学習は教育方法の大きな転換であり、マイナスに捉えることなく、子どもが自分の力で学習を切り開いていく力を身に付けるいい機会となることを願っています。どうか、ご家庭においても現在のコロナ禍の状況を「待ったなし」の状況と捉え、オンライン学習に向けた準備を早め早めをお願いします。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）

..... 切 り 取 り 線